

初夏を迎えました。四国地方は例年より7日、昨年より2週間ほど早く梅雨入りしました。梅雨明けの夏空までは、もう少しの辛抱ですね。

ごけい たより
互恵便り 第28号

創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を…
NS 中谷石材株式会社
〒761-0121
高松市牟礼町牟礼3766-1
電話 087-845-5006



パンジー

写真 中谷石材(株)大川工場 奥野 武

涼しげな色が、うれしい季節を迎えました

当地から他県へ、お客様のご要望にお応えして お墓移転のご依頼にお応えしました

先日、地元にあるお墓を、現在の居住地の京都に移転してほしいという依頼を受けました。

とてもやさしく気さくな施主様は、商談中も色々とお話をして下さりとても楽しかったです。

お墓は、従兄弟のお墓と隣同志の墓地に建てられていました。移設を希望されたこのお墓には、まだ、お骨が収められておりませんでした。施主様にとって、とても大切なお墓であることがお話からも伝わってきました。

この工事は、お墓を一旦バラしてクリーニングを施し、京都の石材店まで届けるというものでした。大切なお墓を、施主様のご希望に沿う形で移すことができ、とてもうれしく思いました。

たくさんお話をする機会を得たこの仕事を通じ、お墓の大切さを改めて感じました。今後も、お客様に寄り添った対応で、お墓の建立をはじめ、移転や改葬のお手伝いをさせていただきます。

中谷浩一朗



無事にお客様の暮らす京都へと搬送されました。
きれいにクリーニングを終えた墓石の荷姿です。

『樋口季一郎氏顕彰碑』除幕式参列

5月21日(日) 鎌倉円覚寺

去る5月21日、鎌倉市で行われた『樋口季一郎氏顕彰碑の除幕式』に参列して来ました。百名近い方が参加されて、盛大な式典が開かれました。



お陰様です。

元陸軍中将の樋口季一郎氏は、多くのユダヤ人をナチスドイツの迫害から救出しました。その数は約2万人にのぼると言われます。外交官であった杉浦千畝(すぎうらちうね)氏のユダヤ人救出は国際的にも知られています。樋口氏は3倍近くのユダヤ人を迫害から救ったこととなります。樋口氏がユダヤ人救出に尽力したのは杉浦氏より2年早く、同盟国ドイツとの関係を考慮して日本でも問題視する動きがあったのですが、樋口氏は「これは人道上の問題だ」として信念を貫きました。

北海道を守った

樋口季一郎

また樋口中将は、ポツダム宣言受諾後も侵攻を続けるソ連軍と戦い、北海道全体が占領されるのを食い止めることに、多大な貢献をしました。ソ連は樋口氏を戦犯に加えるよう要求しましたが、ユダヤ人の尽力によって阻止されたと言われています。

このように偉大な先達を顕彰しようという動きが数年前から始まり、ご縁があり私どもにも協力のお声掛けを頂きました。

樋口氏の出身が淡路島ということもあって、建立世話人の方々が彼の地を訪ねた折に庵治に立ち寄り、石碑の相談をするなどの準備を進めてきました。お話をいただいたから一年半、完成した石碑が建立され、無事序幕の日を迎えたという次第です。

碑が建てられた鎌倉円覚寺は、元寇と戦った北条時宗によって作られました。お寺のホームページによると、「敵味方無く甲うため」に作られたのだそうです。人道にユダヤ人の窮地を見過ごせなかつた樋口中将にふさわしいお寺と言えましょう。

先人のお陰があつてこそ、今の私たちがいる、そのことを再認識して四国への帰途につきました。

社長 中谷明生



「追加彫刻」のご依頼に 気持ちを込めて彫刻しています



追加彫刻でいちばん気を付けている事は、自分自身の文字の癖を出さない事です。一人一人顔が違う様に、例えば十人が同じ文字、文章を書いても仕上がりは千差万別。追加彫刻を依頼して頂いたお客様のお墓は、当社で購入されたお墓ばかりではありません。石材店によって文字書体は変わります。

当社のお墓であれば全く同じに書体を彫刻出来ませんが、他社の場合、既存の書体に限り無く合わせないといけません。書体を合わせないと、「とって付けた様な」仕上がりになってしまいます。だからこそ、既存の文字と同じ仕上がりになる様に自分の文字の癖を出さない事を意識しています。

今まで数えた事はありませんが、これまでに数万、数十万人という方を彫刻させて頂きました。心から感謝です。

お母さんのお腹の中で消えてしまった命も、百歳を超えて長生きされた命も同じ命の重さで捉えて、生を受けて生きた証を気持ちを込めて彫刻して頂きました。本当にありがとうございます。

今後も誇りと感謝の気持ち、そして探究心に彫刻させて頂きます。

字彫課 島山晃



「楽しく仕事をしています」鹿谷祥之

はじめまして。中谷石材で石材加工を担当している、鹿谷祥之と申します。中谷への入社は40才を過ぎてからですが、入社してからずっと大川工場です。仕事をしています。現在はJMカッターと穴あけを担当しています。

入社した頃は 思い悩む毎日でした

最初に担当となったのが、手動の研磨でした。当時は熟練の先輩がいました。横で見ている、これは才能のいる仕事だなとすぐに分かりました。私に出来るようになるかな...と思いつつが、ついに会社に来るのもイヤになるようになりました。妻に「辞めたい」と相談したところ、やれるところまでやってみて、それでもダメならそのときはあきらめましょうと言われ、もうダメだということになりました。頑張りとうとう気持ちになりました。

はこちらの方が合っていました。これは型に合わせて石を切っていく仕事なのですが、石の形によってはいろいろ工夫が必要で、その工夫は毎回自分で考えて進めていくわけですが、それが面白くやり甲斐があります。

料理人でも天ぷら職人というのを持ち前のセンスがある、というのを聞いたことがあります。私は石の研磨職人にも同じようなものを感じますが、私には向いていなかったから、研磨を担当していたときは本当に一日が長かったです。

今は違います 考えて試して面白い

今は違います。不具合が見つかる、それをモノにするのに進め方や細工を一人で考えて試してみます。そんなことが私には面白い合っていて、あつという間に1日が終わってしまいます。あのとき、「辞めない方がいいよ」と言ってくれた妻に感謝しています。実はJMカッターの担当を一度離れ、研磨関係の業務に再度ついたときに、

もう一度妻に相談しましたけど(笑)。

私は昭和40年(1965年)に愛知県豊田市で生まれました。幼稚園に上がるころには香川に移ったので、愛知での記憶はうっすらとしかありません。寒川町の神前小学校、天王中学校に通い、高校は石田高校です。高校では軟式テニスをやっていました。外遊びの多い少年時代でした。

卒業後、就いた仕事は自動車販売の営業です。私自身が特別に成績が良かったというわけではありませんが、世の中に需要があったのだと思います。バブルへと向かっていく時代で、とにかく全体に勢いがありました。もう、事あるごとに飲み会でした。

自動車販売の営業、 大手通販会社勤務を 経て、石職人へ

それから大手通販会社に転職したのですが、この会社も勢いがあったので、どんどん人を増やしていました。10年以上勤めて退職しました。中谷石材に入ったのは2007年です。

今のJMカッターと穴あけの仕事は好きですが、なんといつても以前に比べると仕事量は減りました。

近年では草むしり事業部の応援に行くこともあります。陽がさんさんと照る中で汗だくになるのは大変ですが、この仕事も楽しいです。綺麗になったお庭の状態を見るのは気持ちがいいですし、お客さまに喜ばれてやり甲斐を感じます。そのあとのビールの旨さも格別です！

自分の小屋を作って 小屋ライフを 楽しみたいです

晩酌は毎日、欠かさないです。ビールと日本酒が好きですね。趣味は日曜大工かな。棚や、テーブルや椅子などを作ります。

いつか時間が出来たら、離れに小屋を作りたいと思っています。その小屋で、小屋ライフを楽しみたいです(笑)。まあ、それはまだ先の話です。還暦が近づいてきていますが、働ける間はまだまだ頑張りとうと思っています。



全社一斉環境整備



庵治工場”に集合!



5月20日(土)

中谷石材に入社して、10ヶ月になりますが、挨拶で各部署を回らせて頂いた程度で工場がどのようなものがわからずドキドキで参加しました。窓ガラスと建物の周辺の側溝の担当でしたが、石粉のついた窓ガラスと長い間、手つかずの側溝には、土砂やごみが溜っていて、やりがいのある場所でした。

環境整備中は普段話せない人とも会話ができて、知らないことを聞いても色々教えて下さるので、和気あいあいとした中で取り組むことができました。頑張つて綺麗に仕上がった窓と側溝を見て、気分もスッキリしました。

これから一斉環境整備を通じて様々な部署を回っていきますが、そこで色々な方との交流を楽しみながら、どうやって石が加工されているのか等も学んでいきたいと思えます。

本社情報管理室
若杉 楓

初めて環境整備のリーダーをやってみて、意外と面白かったです。いい経験になりました。

前の会社の頃は掃除を、今の環境整備ほどはしていなかったのでも綺麗になりました。ありがとうございました。

庵治工場 石工職人
中野 哲也



中野 哲也



若杉 楓



「久米の杜」で墓守させていただいています

気持ち良く
参拝して頂きますように!

当社が管理する墓地公園「久米の杜」で、この4月からお世話係としてこちらに常駐している大西です。

お墓参りに来られる方に少しでも気持ち良く参拝していただきたく、毎朝のトイレ清掃と参拝済みの古く茶色くなった花殻と水の抜き取りにも取り組んでいます。特に、やはりトイレの清潔が一番気がかりなので丁寧な掃除を続けています。

参拝に来られた方に、この「互恵便り」を持参してお声がけし、「久米の杜」の永代供養塔や樹木葬の取り組み等のご紹介をさせて頂いていただいています。その際、お墓の掃除や雑草、落ち葉等への不満やご要望、気になつていらっしゃるごことへのお小言、もしくはお誉めの言葉などご意見をお聞かせいただき、今日よりは明日、明日より明後日はもっと良くなるように取り組んでいます。

いろいろな人とお話が出来て、毎日が新鮮で楽しく仕事をしています。私も75歳になりますがこの年まで仕事の機会を与えてくれた会社と同僚、そして家族、また健康に産んでくれた両親にも感謝です。

「久米の杜」お世話係 大西 達雄



美しい「久米の杜」を目指して、管理に励んでいる毎日です。



「草むしり日記」 No.52

お盆が近づくと、墓の草むしりや清掃のご依頼が多くなります。毎年決まってご依頼を下さるお客様からは、すでにご予約もいただいております。ご希望のお客様には、早めのご予約をお勧めしております。この夏も熱中症に気を付けながら、皆様のお役に立てるように頑張りますのでよろしくお願いいたします！

「楽しく、のびのびと仕事をしたいくて」 アルバイト 藪下 司さん (70才)

「体力的にはこれからです。」と、夏の過酷な暑さの中での仕事は、これからが初体験という藪下さん。仲間と一緒に、無理し過ぎず、水分補給をしっかりとって乗り切ってください。

「ひとつとして同じものがない、生きたものと向かい合っている仕事。これって・・・まるで、今放送中で人気のNHK連続ドラマ『らんまん』に描かれている世界観と、まるで一緒ですね。草むしりの仕事の喜びの源のひとつは、こういうことなんじゃないか。」

初めての仕事自体は難しいけれど、剪定をすることなどは楽しいそうです。「相手が生きたものだからかな？」と。木と対峙したときに、「ここは形がまずいから・今度はこうしよう！と剪定後の樹木の姿を見て楽しみながら仕事をしていると笑顔で話してくれました。

昨年10月半ばから、仲間に加わりました。それまでの仕事はデスクワークが多かったので、できたら外での仕事をたくさんの人とののびのびとしたいと思っていたそうです。



実は、草むしり事業部のレジェンド遠山さんの野球部の先輩なんだそうです。なんだか、野球部OB会ができそうですね^^



森 渚 目川 満



草むしり.com 高松

遠山 文士

草刈りまさお



牟礼 英則

今月も留守宅管理の仕事にみんなで取り組みました。字彫りのメンバーが一生懸命に掃除をしている時、外では草むしりチームのメンバーが家の周りや庭の草取りを黙々としています。草むしりに異動する前は配送センター勤務だった目川さん。休憩時間には、同僚だった森さんと楽しく歓談していましたね。ナイスショットです！

「ご家庭のお墓やお庭の草刈りや草むしりだけではありません。近年はとても広い敷地の除草や草刈りのご依頼をいただくことが増えました。そんな時に登場して活躍するマシンがあります。その名も「草刈りまさおくん！これって、この機械の本名なんです。なかなか、笑わせられますね。」

「この日は、わが草むしりのレジェンド・遠山さんが颯爽と乗りこなしていました。」

「ご家庭のお墓やお庭の草刈りや草むしりだけではありません。近年はとても広い敷地の除草や草刈りのご依頼をいただくことが増えました。そんな時に登場して活躍するマシンがあります。その名も「草刈りまさおくん！これって、この機械の本名なんです。なかなか、笑わせられますね。」



草むしり・草刈り・剪定・庭木の伐採・枝落とし・お墓掃除...
ご予約をお待ちしています！



お庭の困り事のご相談は...

草むしり.com 高松

フリーダイヤル

0120-148-144





AJI STONE FAIR 2023

庵治ストーンフェア vol.51

restart

— 再始動 —

～今こそ、日本の石は日本の技で～

会期： 6月2日(金)・3日(土)

会場： サンメッセ香川



このお墓は、うちの庵治石(細目)です。
協力会社の方が出展してくれていまし



お疲れ様です。

久々のストーンフェアとあって大勢の人が来場されてました。沢山の墓石、石の置物が展示されていきました。展示物も毎年レベルが上がっていて、しかも、各会社によって展示の仕方もう工夫されていて、ふれあい祭りの参考になりました。

製造部 平木伸昌

社内報 施工部・配送課・字彫課

「菜の花通信」 66号より



車の旅

ゴールデンウィークに車中泊で、愛媛と高知に行ってきました。宇和島の神社でお参りをし、以前から行ってみたかった四国カルストへ…。

YouTubeで安全な道を確認して出掛けたにもかかわらず曲がる道を通り過ぎてしまい、予定時間をオーバーしてしまいました。それでも天気も良く、壮大な景色を見ることが出来ました。

四国カルストを降り、道の駅入行こうとしましたが、また道に迷い、やっとたどり着いたのが道の駅のあぐり窪川でした。

連休中とあって、寝る頃にはキャンピングカーや車中泊の車で、駐車場はいっぱいになっていました。朝も、レストランの開店にたくさんの方が並んでいて待つほどでした。大型連休の旅はどこも混んでいて大変でした。

そして、今回の旅で過信せずちゃんとナビを活用しようと反省しました。

物流部配送課
白井和男



久米山墓地公園「久米の社」



創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を…

中谷石材株式会社

本社 〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼3766-1

電話 087-845-5006 FAX 087-845-5062



草むしり.com 高松

フリーダイヤル

0120-148-144

互惠便り 第28号

発行日：令和5年6月27日(火) 発行：中谷石材株式会社

6、一生懸命仕事をして、休日もしっかりとリラックスして人生を楽しむ(^^)社内報で知る一緒に働く仲間の暮らしに共感します。